BOM for Windows Ver.6.0 SR2
Report オプション
デザインファイル仕様

2016 年 12 月 1 日

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関しての責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

Copyright © 2016 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

本ドキュメントに記載されている BOM はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。その他会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文および図表中では、「™ (Trademark)」、「® (Registered Trademark)」は明記しておりません。

■ 目次

本ドキュメントについて 1
製品表記 1
使用方法 1
表記規則 1
第 1 章 Report オプション デザインファイル仕様について 1
1 .1 Report オプションのデザインについて 1
第 2 章 各種レポートデザインの仕様 2
2 .1 サーバー診断レポート 2
2 .1 .1 各項目について 4
2 .1 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 5
2 .2 Hyper-V レポート 6
2 .2 .1 各項目について 8
2 .2 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 8
2 .3 Arcserve UDP v6 ログリスト 10
2 .3 .1 各項目について 11
2 .3 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 11
第 3 章 レポートデータベース標準テーブルについて 12
3 .1 各種テーブルについて 12

本ドキュメントについて

製品表記

本ドキュメントでは、以下の製品について略称を使用しております。

正式名称	本マニュアルでの呼称（略称）
BOM for Windows Ver.6.0	BOM 6.0
BOM Report オプション Ver.6.0	Report オプション

使用方法

本ドキュメントには、BOM Report オプションを使用する際に必要となる詳細な情報と手順が記載されています。

本ドキュメントを使用するには、Microsoft Windows オペレーティングシステムについての実際的な知識と、BOM for Windows Ver.6.0 の基本的な知識が必要です。

表記規則

本ユーザーズマニュアルでは、以下の表記規則を使用しています。

表記	説明
‘参照先’	シングルクォート内（‘と’）は本マニュアル内、あるいは別のマニュアルの参照を示します。
“ラベル”	ダブルクォート内（“と”）はラベル名を示します。
「タブ」	鉤括弧内（「と」）はプロパティシート等でのタブ名を示します。
[ボタン]	角括弧内（[と]）はボタン名を示します。
<キー>	山括弧（不等号記号）内（<と>）はキーボード入力を示します。
（補足説明）	丸括弧内（「（」と「）」）は補足説明を示します。

第1章 Report オプション デザインファイル仕様について

1.1 Report オプションのデザインについて

本ドキュメントでは、各種レポートで使用するデザインファイルについて詳細を明記しています。

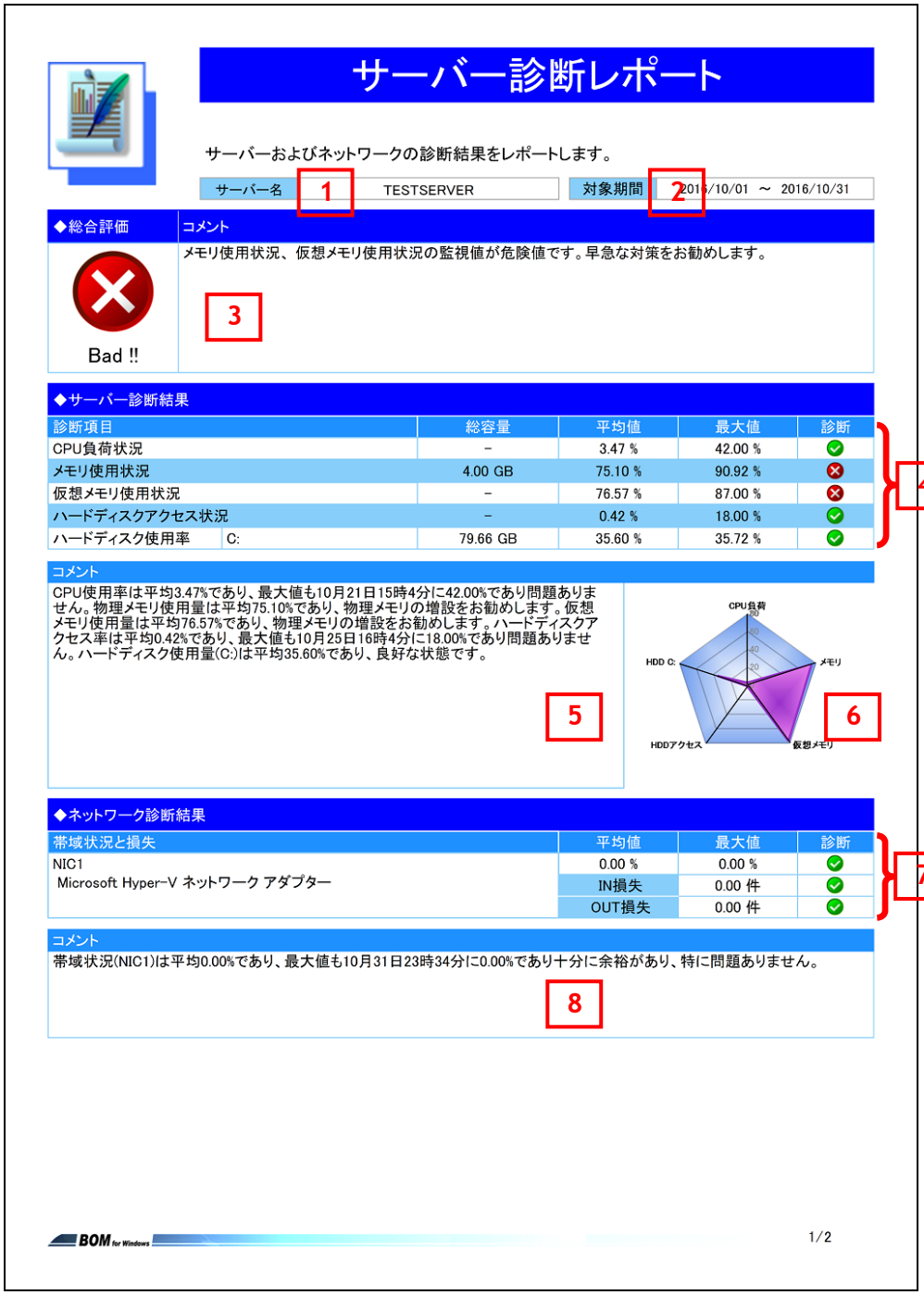
レポートデータベース設定ウィザードを使用し、レポート用データベースを構築する際に必要となる情報も含まれています。

出力したいレポートに合わせ各ページの詳細部分を確認してください。

第2章 各種レポートデザインの仕様

各レポートについて、画面説明やテーブル説明等をご案内いたします。

2 .1 サーバー診 断 レポート



サーバー診断レポート

サーバーおよびネットワークの診断結果をレポートします。

サーバー名	1 TESTSERVER	対象期間	2 2016/10/01 ～ 2016/10/31

◆総合評価

Bad !!

コメント

メモリ使用状況、仮想メモリ使用状況の監視値が危険値です。早急な対策をお勧めします。

3

◆サーバー診断結果

診断項目		総容量	平均値	最大値	診断
CPU負荷状況		-	3.47 %	42.00 %	○
メモリ使用状況		4.00 GB	75.10 %	90.92 %	×
仮想メモリ使用状況		-	76.57 %	87.00 %	×
ハードディスクアクセス状況		-	0.42 %	18.00 %	○
ハードディスク使用率	C:	79.66 GB	35.60 %	35.72 %	○

4

コメント

CPU使用率は平均3.47%であり、最大値も10月21日15時4分に42.00%であり問題ありません。物理メモリ使用量は平均75.10%であり、物理メモリの増設をお勧めします。仮想メモリ使用量は平均76.57%であり、物理メモリの増設をお勧めします。ハードディスクアクセス率は平均0.42%であり、最大値も10月25日16時4分に18.00%であり問題ありません。ハードディスク使用量(C:)は平均35.60%であり、良好な状態です。

5

6

◆ネットワーク診断結果

帯域状況と損失	平均値	最大値	診断
NIC1	0.00 %	0.00 %	○
Microsoft Hyper-V ネットワーク アダプター	IN損失	0.00 件	○
	OUT損失	0.00 件	○

7

コメント

帯域状況(NIC1)は平均0.00%であり、最大値も10月31日23時34分に0.00%であり十分に余裕があり、特に問題ありません。

8

BOM for Windows

1/2

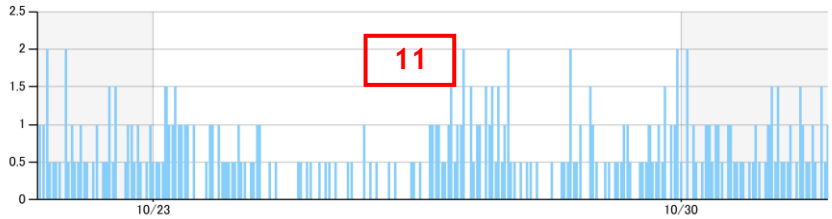
◆Ping応答時間　PingでTimeOutが発生した場合、0msとして反映されます。

9

宛先 ： TESTSERVER1

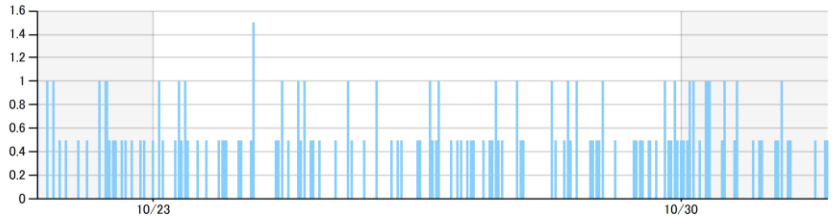
診断項目	平均値	最小値	最大値	診断
応答時間	0.57 ms	0.00 ms	3.00 ms	✓
応答日	–	2016/10/21 11:46:12	2016/10/30 2:34:28	–

10



宛先 ： TESTSERVER2

診断項目	平均値	最小値	最大値	診断
応答時間	0.30 ms	0.00 ms	2.00 ms	✓
応答日	–	2016/10/21 12:16:12	2016/10/31 8:04:29	–



コメント

TESTSERVER1との疎通に問題はありません。TESTSERVER2 との疎通に問題はありません。

12

◆イベントログ　サマリー　下記情報は、総合評価および各コメントの評価対象ではありません。指標として出力していますので、必要な項目は実際のイベントログでご確認下さい。

ソース	情報	詳細	警告	エラー	重大	その他	合計
Arcserve UDP	7	0	1	2	0	2	12
Microsoft-Windows-Iphlpsvc	0	0	0	1	0	0	1

13

BOM for Windows　2/2

2.1.1 各項目について

No	説明
1	レポート対象のコンピューター名を表示します
2	レポートの出力対象期間を表示します
3	コンピューターリソースの診断結果、ネットワークトラフィック診断結果および、Ping 応答時間の診断結果を合わせたコンピューター総合評価をそれぞれの診断結果を基にコメントを自動生成します。また、総合評価に合致したアイコンを表示します。
4	コンピューターリソースの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
5	コンピューターリソースの診断結果を元にコメントを自動生成します。
6	コンピューターリソースの診断結果をチャートにまとめて表示します。
7	ネットワークトラフィックの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
8	ネットワークトラフィックの診断結果を元にコメントを自動生成します。
9	Ping 監視の監視先を表示します。
10	Ping 監視の診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
11	Ping 監視の応答時間についてグラフ表示します。
12	Ping 応答時間の診断結果を元にコメントを自動生成します。
13	システムログ及び、アプリケーションログの集計値を一覧で表示します。 なお、本項目についてはサーバー診断レポートの評価対象ではありません。

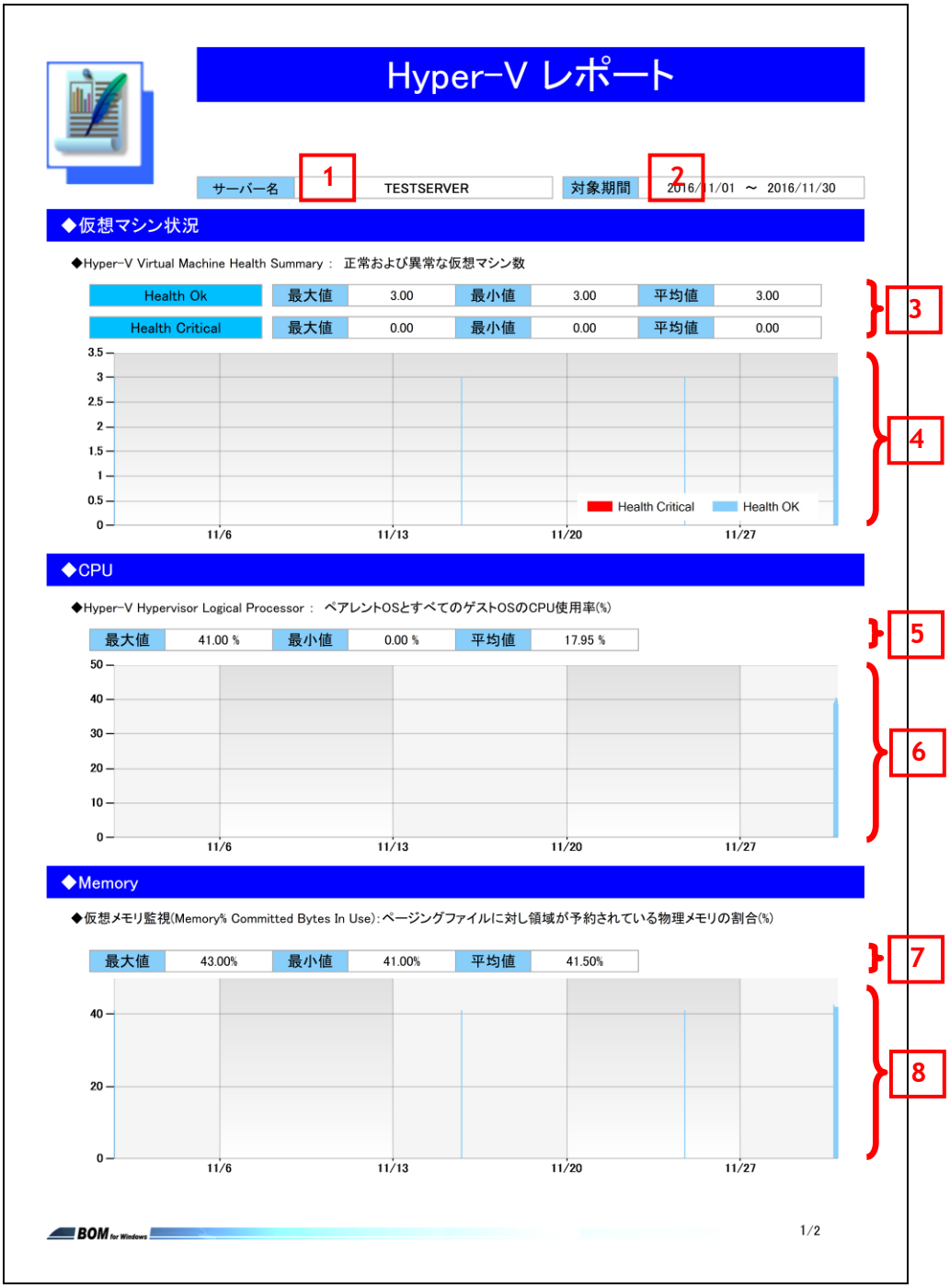
2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

※　レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です

監視テンプレート名：Windows サーバー診断レポート V2 レポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Windows レポート向け監視項目	プロセッサ監視	CpuPTime
	メモリ監視	MemABytes
	仮想メモリ監視	PerfMemCBytesInUse
	ディスクアクセス監視	DStreDTime
	C ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	D ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	E ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	F ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	G ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	プロセス詳細情報収集	未使用
	プロセス詳細情報収集（x64）	未使用
	NIC1 ネットワーク帯域使用率監視	NetworkUtilization
	NIC1 ネットワーク受信バイト率	未使用
	NIC1 ネットワーク送信バイト率	未使用
	NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr
	NIC2 ネットワーク帯域使用率監視	NetworkUtilization
	NIC2 ネットワーク受信バイト率	未使用
	NIC2 ネットワーク送信バイト率	未使用
	NIC2 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC2 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr
ログ監視	システムログ監視	Evtlog
	アプリケーションログ監視	Evtlog
PING 監視	IP アドレスまたは機器名称 1	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称 2	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称 3	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称 4	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称 5	PingResponse

2 .2 Hyper-V レポート



Hyper-V レポート

サーバー名	1	TESTSERVER	対象期間	2	2016/11/01 ～ 2016/11/30

◆仮想マシン状況

◆Hyper-V Virtual Machine Health Summary ： 正常および異常な仮想マシン数

Health Ok	最大値	3.00	最小値	3.00	平均値	3.00
Health Critical	最大値	0.00	最小値	0.00	平均値	0.00

3

3.5 3 2.5 2 1.5 1 0.5 0
11/6 11/13 11/20 11/27
Health Critical Health OK

4

◆CPU

◆Hyper-V Hypervisor Logical Processor ： ペアレントOSとすべてのゲストOSのCPU使用率(%)

最大値	41.00 %	最小値	0.00 %	平均値	17.95 %

5

50 40 30 20 10 0
11/6 11/13 11/20 11/27

6

◆Memory

◆仮想メモリ監視(Memory% Committed Bytes In Use):ページングファイルに対し領域が予約されている物理メモリの割合(%)

最大値	43.00%	最小値	41.00%	平均値	41.50%

7

40 20 0
11/6 11/13 11/20 11/27

8

BOM for Windows 1/2

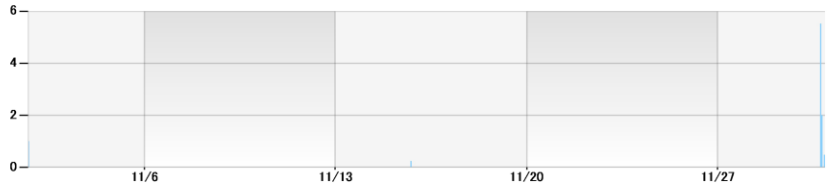
◆HDD

_Total

◆ディスク処理待ち行列長監視(PhysicalDisk Current Disk Queue Length)： 待ち行列にある要求数

最大値	10.00	最小値	0.00	平均値	0.91

9



10

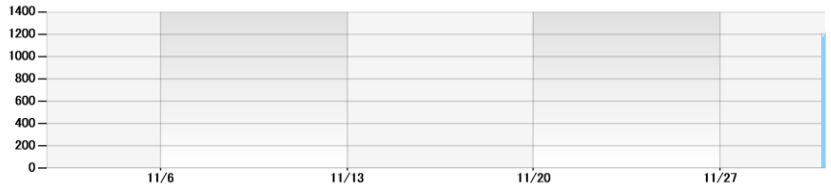
◆Network

Intel[R] 82574L Gigabit Network Connection

◆Network Interface Received Bytes Total/sec： 受信バイト数(Byte/s)

最大値	1.21 KB/s	最小値	0.00 Byte/s	平均値	544.27 Byte/s	IN損失	0.00

11

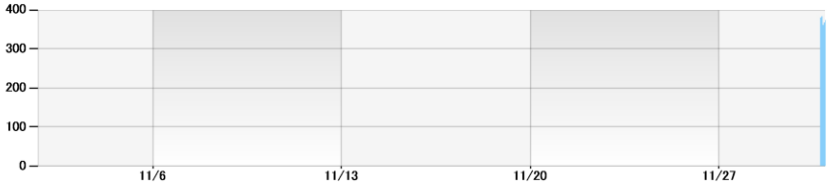


12

◆Network Interface Sent Bytes Total/sec： 送信バイト数(Byte/s)

最大値	396.00 Byte/s	最小値	0.00 Byte/s	平均値	169.45 Byte/s	OUT損失	0.00

13



14

BOM for Windows 2/2

2.2.1 各項目について

No	説明
1	レポート対象のコンピューター名を表示します
2	レポートの出力対象期間を表示します
3	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視及び、Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します
4	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視及び、Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視で取得したデータをグラフ表示します
5	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します
6	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視で取得したデータをグラフ表示します
7	仮想メモリ監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します
8	仮想メモリ監視で取得したデータをグラフ表示します
9	ディスク処理待ち行列長監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します
10	ディスク処理待ち行列長監視で取得したデータをグラフ表示します
11	NIC1 ネットワーク受信バイト率監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値および NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数監視で取得したエラー発生回数を表示します
12	NIC1 ネットワーク受信バイト率監視で取得したデータをグラフ表示します
13	NIC1 ネットワーク送信バイト率監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値および NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数監視で取得したエラー発生回数を表示します
14	NIC1 ネットワーク送信バイト率監視で取得したデータをグラフ表示します

2.2.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

※　レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です

監視テンプレート名：Hyper-V レポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Hyper-V 2012 R2 Overall health	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視	HPVHealthCritical
	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視	HPVHealthOK
Hyper-V 2012 R2 Processor	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視	HPVLogicalProcessor
Hyper-V 2012 R2 Resources	仮想メモリ監視	PerfMemCBytesInUse
	ディスク処理待ち行列長監視	PerfPDiskCurDiskQueLength

	NIC1 ネットワーク受信バイト率	PerfNICBytesReceived
	NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC1 ネットワーク送信バイト率	PerfNICBytesSent
	NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr
	NIC2 ネットワーク受信バイト率	PerfNICBytesReceived
	NIC2 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC2 ネットワーク送信バイト率	PerfNICBytesSent
	NIC2 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr

2.3 Arcserve UDP v6 ログリスト

Arcserve UDP v6 ログリスト

サーバー名 1 TESTSERVER　対象期間 2 2016/10/01 ～ 2016/10/31

◆サマリー

ソース	情報	詳細	警告	エラー	重大	その他	合計
Arcserve UDP	4	0	1	1	0	0	6

3

◆ログリスト

ソース	ID	レベル	日付	メッセージ
Arcserve UDP	100	情報	2016/10/21 14:03:50	データ ストア管理サービスが 復旧ポイントサーバ "TESTSERVER " で停止しました。
Arcserve UDP	100	情報	2016/10/21 14:03:55	データ ストア管理サービスが 復旧ポイントサーバ "TESTSERVER " で開始しました。
Arcserve UDP	102	警告	2016/10/21 16:43:20	ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: 警告発生テスト
Arcserve UDP	102	情報	2016/10/21 17:14:21	ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: 情報発生テスト
Arcserve UDP	102	情報	2016/10/21 17:14:26	ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: 情報発生テスト
Arcserve UDP	102	エラー	2016/10/21 17:14:55	ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: 監査の失敗発生テスト

4

BOM for Windows　1/1

2.3.1 各項目について

No	説明
1	レポート対象のコンピューター名を表示します
2	レポートの出力対象期間を表示します
3	Arcserve UDP の検知したログ集計値を一覧で表示します。
4	Arcserve UDP の検知したログ詳細を一覧で表示します。

2.3.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

※　レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です

監視テンプレート名：Arcserve UDPv6 ログ取得レポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Arcserve UDPv6 ログ取得	Arcserve UDP アプリケーションログ監視	Evtlog

第3章 レポートデータベース標準テーブルについて

各レポートデザインとは別に、必ず作成される各種テーブルについてご案内いたします。

3 .1 各 種 テーブルについて

作成されるテーブルの仕様については以下の通りです。

テーブル名称：環境設定テーブル

テーブル ID：t_environmental setting

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	設定項目名	environment_item	nvarchar	×
2	設定値	environment_value	nvarchar	×

テーブル名称：収集データリストテーブル

テーブル ID：t_collect_terms

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	実行履歴 ID	history_id	int	×
2	実行日時	execute_time	datetime	×
3	検索日時最小値	minimum_time	datetime	×
4	検索日時最大値	maximum_time	datetime	×
5	インベントリ情報格納テーブル	inventory_table_name	nvarchar	×

テーブル名称：インスタンス管理テーブル

テーブル ID：t_instance

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	インスタンス設定 ID	instance_setup_id	int	×
2	インスタンス種別（プロダクトコード）	product_code	nvarchar	×
3	ユニークサーバー名	machine_unique_name	nvarchar	×
4	インスタンス名	instance_name	nvarchar	×
5	実行履歴 ID_Begin	history_id_begin	int	×
6	実行履歴 ID_End	history_id_end	int	×
7	サーバー名	machine_name	nvarchar	×
8	エイリアス付サーバー名	machine_alias	nvarchar	×

テーブル名称： サマリーテーブル

テーブル ID：t_summary_report_data

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	実行履歴 ID	history_id	int	×
2	インスタンス設定 ID	instance_setup_id	int	×
3	監視項目設定 ID	watch_setup_id	int	×
4	レポートデータテーブル名	table_name	nvarchar	×
5	最大値	maximum_value	money	
6	最大値日付	maximum_date	datetime	
7	最小値	minimum_value	money	
8	最小値日付	minimum_date	datetime	
9	平均値	average_value	money	
10	個数	count_value	money	×
11	合計	sum_value	decimal	
12	増分計算基準値	incremental_base	money	
13	増分計算最大値	incremental_max	money	
14	増分計算合計値	incremental_total	money	
15	取得データ日時最大値	compensation_time	datetime	×
16	付加情報	additional_information	nvarchar	×
17	データ種別	data_type	nvarchar	×

テーブル名称： レポートデータテーブル

テーブル ID：t_$(テーブル追加時に任意設定)_yyyymm

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	インスタンス設定 ID	instance_setup_id	int	×
2	日時	monitor_time	datetime	×
3	値	monitor_value	nvarchar	×
4	付加情報	additional_information	nvarchar	×

※yyyymm：年月

テーブル名称： インベントリ情報テーブル

テーブル ID：t_inventory_yyyymm

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	インスタンス設定 ID	instance_setup_id	int	×
2	日時	archive_time	datetime	×
3	一意な情報 ID	sysinfo_id	int	×
4	情報 ID の組み合わせ ID	set_num	int	×
5	WMI 名前空間	name_space	nvarchar	
6	WMI クラス名	class_name	nvarchar	
7	WMI プロパティ名	property_name	nvarchar	
8	値	info_value	nvarchar	

※yyyymm：年月

BOM Ver.6.0 SR2

Report オプションデザインファイル仕様

2016 年 12 月 1 日　初版
著者　セイ・テクノロジーズ株式会社
発行者　セイ・テクノロジーズ株式会社
発行　セイ・テクノロジーズ株式会社
バージョン　Ver.6.0.20.0

Copyright © 2016 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.